

令和5年度 第1回 長野市歴史的風致維持向上協議会

会議記録（概要）

日 時：令和5年6月1日（木）

午前10時から午前11時50分まで

場 所：長野市役所第二庁舎10階 講堂

●出席委員 10名

高見澤会長、石黒委員、久米委員、小林委員、若山委員、長尾委員、古畑委員、徳武委員、北澤委員、藤沢委員

●代理者出席 1名

岡田委員代理者

●欠席委員 4名

宮下職務代理者、土本委員、清水委員、金子委員

1 開 会

定足数の確認

2 会長挨拶

3 新任委員の委嘱及び紹介

4 事務局自己紹介

5 諮問

長野市歴史的風致維持向上計画の令和5年度進行管理・評価、最終評価及び長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）について

6 協 議

(1) 令和5年度の長野市歴史的風致維持向上計画に係る事業について

・説 明	事務局：資料1-1、1-2により、『令和5年度の長野市歴史的風致維持向上計画に係る事業について』説明。
------	---

・質 問 (委 員)	「Z T 11 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業」について、令和5年度事業内容の記載に『一定数確保する』とあるが、基準はあるのか。
---------------	---

・回 答 (市)	基準はありません。
---------------	-----------

・意見 (委員)	支援の内容として、担い手や人手の部分での支援が必要かと考えるが、いかがか。
・回答 (市)	今後、担当部署や実行委員会で協議していきます。
・意見 (委員)	まちなか居住の推進を図り、中心市街地の人口増加の効果の1つとして、まちなかの祭礼や行事の担い手不足を補うことが期待される。 直接の事業でなくても、そのような意味で関係部署と連携して、まちづくり事業全般を進める必要がある。
・意見 (委員)	まちなかに住み始めた人が、自分のまちのお祭りだと捉えるには、よほどのことをする必要があると推測するが、具体的な方策等があるのか。
・回答 (市)	まちなかに居住し始めた方が、地域と関係性を持つには、時間や機会の面で、難しいと認識しております。 一方で、歴史まちづくりの観点だけでなく、都市整備という観点から、まちなかの居住人口の増加を図る、言い換えれば、担い手、人手の母数となる住民を増やすことは、重要だと考えておりますので、引き続き、方策等について検討してまいります。
・意見 (委員)	各種審議会の構成員には、地域の役員となっている方もいる中で、役員を通じて地域の学生などに協力を依頼し、上手くいっている事例もある。そのような方策も含めて、まちづくりを進めていき、担い手不足等の課題解決につながることを期待する。
・意見 (委員)	具体的な事例として、今年、鬼無里神社の屋台巡行が、数年ぶりに実施されその際、応募いただいた地元長野市の大学生30人弱に協力してもらい、屋台巡行を行うことができた。そのことで、地元の氏子さんなども、祭礼の継続に自信を持ったようである。 このように、まちづくりの観点からも、地域の人々に限らず広く宣伝や周知を図り、学生等の協力を得て、長野、鬼無里の誇れる祭礼や行事を継続できれば良いと考える。
・意見 (委員)	「Z T 9 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業」に関連して、戸隠を訪れた際、地区内の看板が、周囲の景観に配慮して茶色に変更されており、戸隠のイメージに合っていると感じた。
・質問 (委員)	「Z T 15 歴史的風致形成建造物修理助成事業」について、事業内容に門の修理の記載があるが、母屋等の建物はどのようになるのか。

・回答 (市)	門のみ歴史的風致形成建造物に指定しているため、資料のように記載しましたが、母屋等の建物も門の修理に合わせて着工する予定と伺っています。
・意見 (委員)	景観を損なわないためにも、門の整備だけではなく母屋等の建物も含めた統一感に配慮していただきたい。
・意見 (委員)	<p>「MK11 旧松代駅舎保存活用事業」に関して、前回等の協議会で、移築、再築の意見を申し上げたが、敷地、予算、活用等の面から、事業化するのは困難ではないかと推察される。</p> <p>その点も含めると、次の方策が考えられる。</p> <p>1つが、一部の部材を活用して後世につなげることである。松代城東側駐車場整備に合わせてバス待合所や駐輪所を整備する際に、旧松代駅舎の一部の部材を活用する方法が考えられる。</p> <p>もう1つの方策として、旧松代駅舎を市で実測、調査を行い、図面として正確に記録保存する。正確な図面があれば、後世に再現可能になる。</p> <p>ただし、部材活用の方法は、そもそも用途や規模が異なるため、中途半端な形になる可能性が高く、むしろ周辺環境に配慮した伝統和風で造った方が望ましいと考える。</p> <p>よって、本事業の代替策としては、図面等の記録保存がより望ましいと提言したい。</p> <p>いずれにしても、旧駅舎への住民の思いに配慮した対応をお願いする。</p>
・回答 (市)	<p>旧松代駅舎については、地域から提出のありました意見書を踏まえて、今後検討してまいります。</p> <p>また、アクセス道路整備などに伴うバス待合所、駐輪所の整備に関しても、地域の意向を尊重する中で、松代のまちなみ、景観に十分に配慮したものになるよう関係機関と協議していきたいと考えています。</p>

(2) 長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）素々案 について

・説明	事務局：資料2-1、2-2により、『長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）素々案 について』説明。
・質問 (委員)	説明で、『読み手に分かりやすい』とあったが、読み手とは誰を想定しているのか。
・回答 (市)	<p>文章の構成、表記の方法としては、「中学3年生が読んで分かりやすい」ことを基準としております。この中学3年生とは、国のマニュアルに記載されているものです。</p> <p>また、行政計画であるため、多くの市民に読んでいただくことを想定しており、その中でも将来の担い手となる年代の方が、本市の文化的・歴史的な魅力に共感できるものになればと考えております。</p>

・質 問 (委 員)	この計画は、国に認定申請を行うものだが、認定を受けた際は、広く市民に周知し、本市が持つ文化的・歴史的な魅力を市民に知っていただくものになると理解してよろしいか。
・回 答 (市)	お見込みのとおりです。
・質 問 (委 員)	計画のページ数は、この資料(約150ページ)程度を考えているのか、よりページ数を増やしても構わないのか伺う。その度合いにより、より具体的な内容での意見聴取か、それとも資料の程度の内容で止めるのか、意見の出し方が異なってくる。
・回 答 (市)	<p>ページ数の制限等は、ありませんが、多くの方に読んでいただけるものになりたいと思いますので、多くとも現計画(約350ページ)程度に収めたいと考えております。</p> <p>また、現計画の最終評価において、計画に基づく事業を進めてきたことで文化財や歴史的建造物の保存、整備や周辺環境の整備といったハード面は推進されたが、計画や事業の情報発信などの面が不足しているとしているところです。そのため、情報発信を強化し、観光振興、地域活性化につなげることを、第2期計画の重点的な方針に位置付けたいと考えております。</p> <p>現在、進められている文化財保存活用地域計画の策定が済んだ際は、長野市歴史的風致維持向上計画(第2期)と長野市文化財保存活用地域計画の両輪で、本市の歴史まちづくりを進めていきたいと考えております。</p>
・意 見 (委 員)	了解した。
・意 見 (委 員)	本日の協議で意見に挙げた「担い手不足」の観点からも、文化財を活用するNPOと、中学、高校などの学校教育と接点を持つことが大切ではないか。
・意 見 (委 員)	学校では、地域の歴史に関する学習を行っているが、地域外の歴史を学ぶまでには至っていないように思う。本計画の概要版などを活用して、本市が持つ魅力を知る機会があればよいと考える。

(3) その他

・説 明	事務局：資料3により、『最終評価』及び『令和5年度協議会スケジュール』説明。
・意見等	なし

全体を通した中での意見等

- ・意見
(委員) 「MK24 大室古墳群アクセス道路整備事業」について、この事業は文化財の活用の観点から、大変重要な事業だと考える。来訪者が貴重な文化財に触れる施設までのルートを整備することで、多くの方が訪れ、文化財を身近な貴重なものとして、捉えてもらえばありがたい。
また、祭礼等の担い手の話が本日の焦点となったが、学校との連携に際して、小学生、中学生、高校生と継続的な連携が重要だと考える。
- ・回答
(市) 歴史まちづくりにおいて、教育機関との連携は非常に重要なことだと認識しておりますので、今後とも御指導をお願いします。
- ・意見
(委員) 長野市の現状として、若者が学生として首都圏に進学した後、地元に戻ってこないという状況があり、そのような若者が、本市が持つ魅力を知らないことが多い。各企業もインターンシップ等で努力しているが、本計画が教育の場で生かされて、若者が帰ってきたいと思える長野市を目指していきたい。

7 閉 会